

## 泌尿器科

岡 聖次

平成 25 年度（平成 25 年 1 月 1 日～12 月 31 日）の入院患者総数は 625 名（重複入院を含む）であり、その内悪性腫瘍患者は 396 名（63.4%）を占め、その内訳は腎癌 41 名、腎盂・尿管癌 22 名、膀胱癌 162 名、前立腺癌 147 名、精巣腫瘍 8 名、その他 16 名であった。手術件数は 529 件（518 名）であり、悪性腫瘍関連では腎細胞癌に対する根治的腎摘除術を 24 件、腎部分摘除術を 3 件、腎盂・尿管癌に対する腎尿管全摘除術を 8 件、膀胱癌に対する TUR-BT を 113 件、膀胱全摘除を 5 件、前立腺癌に対する前立腺全摘除術を 25 件、精巣腫瘍に対する精巣摘除術を 6 件施行した。

尿路結石症に対する体外衝撃波による結石破碎術（ESWL）は 56 回（25 名：外来施行 43 回）施行したが、本年 7 月に腎盂、腎杯内の結石も経尿道的に碎石可能な極細の軟性尿管鏡が整備されたことにより、レーザー碎石による経尿道的腎尿管碎石術（f-TUL）を開始し、12 月末までに 30 例施行した。

前立腺肥大症に対する経尿道的手術も 7 月に手術機器を非電解質灌流液（ウロマチック<sup>®</sup>）によるモノポーラーシステムから電解質灌流液（生理食塩水）によるバイポーラーシステム（TURis システム）に切り替えたことにより、これまで開腹手術が余儀なくされていた 100g を超えるような大きな前立腺肥大に対しても、経尿道的に前立腺肥大組織（内腺）を前立腺外科被膜（外腺）からくり抜いて膀胱内に押し込み、膀胱内に遊離された肥大組織をミンチ状に砕いて吸い出す特殊装置（モルセレーター）を用いて摘出する経尿道的前立腺核出術（TUEB）が可能となり、開腹手術はほとんど不要となっている。

平成 25 年度の腹部手術は、原則的に副腎腫瘍に対しては臍周囲の切開による単孔式腹腔鏡下手術（ラパロ）、腎癌や腎盂・尿管癌に対しては後腹膜アプローチによる腹腔鏡下手術（ラパロ）、前立腺癌に対しては 6cm の腹腔鏡下小切開手術で行った。

限局性前立腺癌に対する主な根治療法としては手術療法および放射線療法があるが、当院では体外照射治療の強度変調放射線治療（IMRT）および内照射の高線量率組織内照射法（HD-RT）が施行可能であり、前立腺癌に対する基本的な治療体制が整っている。

去勢抵抗性前立腺癌に対してはドセタキセル治療を治療導入時は入院下で行っているが、2 コース目以降はほとんどが外来化学療法室で治療を行っている。

進行性腎細胞癌に対しては分子標的薬を中心に次々と新薬が開発され本邦でも保険収載されているが、われわれはこれらの治療も症例を選びながら積極的に取り組んでいる。

外来診療においては、癌診療を中心とした急性期病院であるという当院の機能的役割に準じ、慢性疾患で薬剤投与が中心となっている患者に対しては、可能な限り紹介元での診療を依頼するなどして、病診連携の強化に努めている。

【2013 年度研究発表業績】

A-0

Okumura N, Tsujihata M, Momohara C, Yoshioka I, Suto K, Nonomura N, Okuyama A, Takao T. Diversity in protein profiles of individual calcium oxalate kidney stones. PLoS One 2013; 8(7): e68624. (2013 年 7 月)

Tsujimura A, Yamamoto Y, Sakoda S, Okuda H, Yamamoto K, Fukuhara S, Yoshioka I, Kiuchi H, Takao T, Miyagawa Y, Nonomura N. Finger taps and constipation are closely related to symptoms of overactive bladder in male patients with Parkinson's disease. Int J Urol 2014;21 (1) : 69-73 (2014 年 1 月)

A-1

吉岡 巖 (共同執筆) : 尿路結石症診療ガイドライン. 第 2 版、2013 年版. 日本泌尿器科学会、日本泌尿器内視鏡学会、日本尿路結石症学会編. 金原出版株式会社. 2013 年

A-3

王 聡、安永 豊、岩佐葉子、鯉田容平、小森和彦、原田泰規、岡 聖次 : 後腹膜 Müller 管嚢胞の 1 例「泌尿器外科」26 (7) : p.1129-1132、2013 年 7 月

金城孝則、種田建史、米田 傑、竹澤健太郎、野村広徳、鄭 則秀、高田晋吾、松宮清美. 自然破裂をきたし急速な転帰をたどった腎細胞癌の 1 例「泌尿紀要」59 (8) : p.517-521、2013 年 8 月

野村広徳、洪 陽子、金城孝則、野々村大地、米田 傑、山本致之、鄭 則秀、高田晋吾、松宮清美 : 回腸新膀胱造設術後早期に代謝性アシドーシスおよびテタニーを来した 1 例「泌尿紀要」59 (8) : P.535-538、2013 年 8 月

金城孝則、野々村大地、山本致之、米田 傑、野村広徳、鄭 則秀、松宮清美、柳本喜智、赤松大樹、城光寺 龍、辻本正彦 : 直腸癌との鑑別が困難であった原発性精嚢腺癌の 1 例「泌尿紀要」59 (9) : p.597-601、2013 年 9 月

山本致之、高田晋吾、金城孝則、野々村大地、米田 傑、野村広徳、鄭 則秀、松宮清美、大楠崇浩 : 男性更年期外来受診を契機に発見された鞍上部嚢胞性腫瘍による汎下垂

体機能低下症の1例「泌尿紀要」59（10）：p.683-686、2013年10月

松崎恭介、奥見雅由、吉田康幸、吉岡 巖、辻村 晃、野々村祝夫：後腹膜腫瘍として加療された気管支原性嚢胞の1例「泌尿紀要」59（11）：p.715-718、2013年11月

金城孝則、種田 建史、米田 傑、竹澤健太郎、野村広徳、鄭 則秀、高田晋吾、松宮清美：腹腔鏡下副腎摘除術を施行しえた褐色細胞腫自然破裂の1例「泌尿紀要」59（12）：p.775-779、2013年12月

高尾徹也、竹沢健太郎、奥田英伸、山本圭介、福原慎一郎、吉岡 巖、木内 寛、宮川康、辻村 晃、野々村祝夫：パーキンソン病の性機能とパーキンソン症状との関連「日本性機能学会雑誌」28(3)：p.171-177、2013年12月

洪 陽子、金城孝則、野々村大地、山本致之、米田 傑、野村広徳、鄭 則秀、高田晋吾、松宮清美、城光寺 龍、辻本正彦：腎限局型 Castleman's disease の1例「泌尿紀要」60（3）：P.129-132、2014年3月

#### B-4

鄭 則秀、高田晋吾、野村広徳、米田 傑、山本致之、金城孝則、野々村大地、松宮清美、藤岡秀樹：当院における TUEB の臨床的検討。第101回日本泌尿器科学会総会、札幌、2013年4月

野村広徳、野々村大地、金城孝則、山本致之、米田 傑、鄭 則秀、高田晋吾、松宮清美：当院における膀胱全摘除症例の臨床的検討。第101回日本泌尿器科学会総会、札幌、2013年4月

金城孝則、野々村大地、山本致之、米田 傑、野村広徳、鄭 則秀、高田晋吾、松宮清美：重症上部尿路感染症におけるプロカルシトニン測定の意義。第101回日本泌尿器科学会総会、札幌、2013年4月。

金宮健翁、金光俊行、林 哲也、岡 大三、藤本宣正、小出卓生、吉田康之、春日井 務：悪性リンパ腫を伴った精巣成熟奇形種の1例。第101回日本泌尿器科学会総会、札幌、2013年4月

木下竜弥、金宮健翁、吉岡 巖、鄭 則秀、原田泰規、岡 聖次：単孔式腹腔鏡下後腹

膜嚢胞摘除術の経験。第 27 回日本泌尿器内視鏡学会総会、名古屋、2013 年 11 月

上川禎則、深井照美、進藤勝久、田中悦子、本田優子、中務直美、岡 聖次：ウロストメイトに対する QOL 調査票の作成—第 1 報。第 31 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会、仙台、2014 年 2 月

#### B-6

木下竜弥、種田建史、吉岡 巖、原田泰規、安永 豊、岡 聖次、林 伊吹：甲状腺乳頭癌腎転移の 1 例。第 223 回日本泌尿器科学会関西地方会、枚方、2013 年 5 月

米田 傑、城 沙也佳、金城孝則、野々村大地、山本致之、野村広徳、鄭 則秀、高田晋吾、松宮清美：膀胱癌手指骨転移の 1 例。第 223 回日本泌尿器科学会関西地方会、枚方、2013 年 5 月

金宮健翁、木下竜弥、吉岡 巖、鄭 則秀、原田泰規、岡 聖次、山口唯一郎、守永友紀子、真能正幸：腹部腫瘍で発見された尿管扁平上皮癌の 1 例。第 224 回日本泌尿器科学会関西地方会、神戸、2013 年 9 月

#### B-8

吉岡 巖：前立腺癌における手術の位置付けについて。前立腺癌の外科的手術講演会、大阪、2013 年 9 月

原田泰規：前立腺癌におけるミニマム創術（ミニマム創内視鏡下手術）について。前立腺癌の外科的手術講演会、大阪、2013 年 9 月

岡 聖次：講演：尿失禁と過活動膀胱の病態と治療。法円坂薬剤師会「学術講習会」、大阪、2013 年 12 月

原田泰規：講演：おしっこの出が悪いのは年のせいでしょうか？～前立腺肥大症かもしれません～。港区市民健康フォーラム、大阪、2014 年 3 月